



「いろは版杵築城下絵図」江戸時代後期  
個人蔵（寄託品）



杵築城上空写真（台山部分）

よみがえる

幻の城

# 木付城

モノが語る近世の杵築藩

## 市民感謝

10月4日～31日

杵築城落成50周年を  
記念して、上記期間中  
杵築市民の方は無料で  
ご観覧いただけます。



限定 308枚

50周年オリジナル  
木付城御城印

500円  
で販売!

2020年（令和2年）

10月4日[日]～11月23日[月祝]

開館時間 9:30～17:00（最終入館 16:30 まで）

開館場所 杵築城

観覧料 個人 400円（一般）・200円（小・中学生）

団体 320円（一般）・160円（小・中学生）

※杵築市在住の方は、入館の際に受付窓口にて、身分証（運転免許証、保険証）などをご提示ください。

※今回の特別展の主題には、これまであまり紹介することが少なかった正徳2年（1712）以前の木付城についても取り上げているため、一般呼称である「杵築」ではなく、「木付」を用いています。但し、特別展の解説の中には、便宜上「杵築」を用いている場合もあります。

※杵築城では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用、手指消毒、換気、入場制限などの対策を実施しております。ご来館の際には、ご協力をお願いいたします。



「藩主着用甲冑」江戸時代  
杵築神社蔵（寄託品）

【問合わせ】杵築市教育委員会 文化・スポーツ振興課文化財係（きつき城下町資料館内）  
〒873-0002 大分県杵築市南杵築193-1 TEL:0978-62-5750 FAX:0978-62-5751



木付氏の子孫が大友家没後の128年後に記した文献資料  
「豊陽志(写本)」 江戸時代 個人蔵 (寄託品)



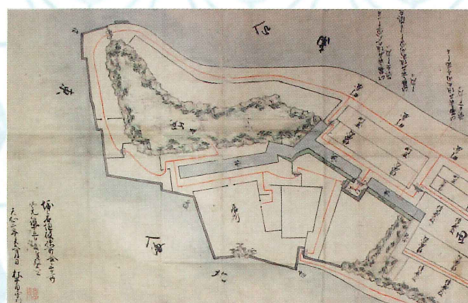
「抱き花杏葉紋入り飯櫃」  
江戸時代 個人蔵 (寄託品)



「藩主着用 雪笹紋入り火事兜」  
江戸時代 杵築神社蔵 (寄託品)



「田辺文琦筆 旧杵築藩之真景(部分)」 嘉永3年 [1850] 個人蔵 (寄託品)



「木付城絵図」 天和3年 [1683] きつき城下町資料館蔵



「松平英親侯御筆 春詠歌」  
元禄14年 [1701] きつき城下町資料館蔵

## 杵築城跡出土の考古資料 初公開！



「台山3次発掘調査出土瓦」 江戸時代 (17世紀頃) 杵築市教育委員会蔵



天守南側石垣調査状況



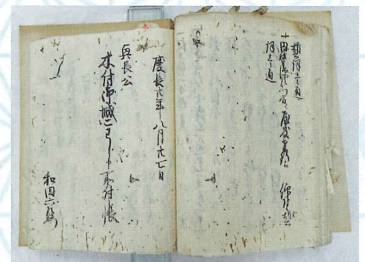
虎口空堀及び破却後の石積み付近調査状況

# よみがえる 幻の城 木付城

## —モノが語る近世の杵築藩—

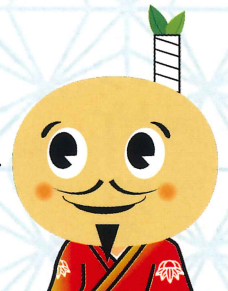
杵築市のシンボルである杵築城は中世から近世、現代に至るまで杵築市の歴史文化を語るうえで、重要な役割を果たしてきました。2020年3月には杵築城跡及び藩主御殿跡が正式に国指定の史跡となりました。

また、2020年は1970年に模擬天守が再建されて節目の50周年を迎えることから、これまでの杵築城の歴史や近年の発掘調査によって得られた考古資料や歴史資料を交えながら杵築城跡の歴史を振り返ります。

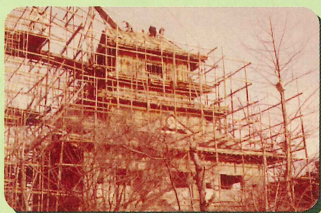


木付城の破却の様子が記された文献資料  
「木付御城こわし申所付之帳」  
慶長20年 [1615] 8月27日  
熊本大学附属図書館『松井文庫』蔵  
※パネル展示

これは見どころが  
いっぱいじゃの、  
初公開資料も  
あるよじや



## 杵築城思い出写真 —プレイバック！50年前の杵築城—



### 《建設工事中の杵築城》

左写真木製の足場を組み、天守の屋根からコンクリートを流している場面。  
右写真は杵築城の屋根から同じく建設が進んでいる杵築大橋を撮影したもの。  
※個人写真提供

